

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	予防接種事業	担当課	保健課
細分化した事業名			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	誰もが安心して暮らせるまちづくり	
	政策	健康な暮らしを守る保健・医療の充実	
	施策	健康づくりの推進	
関連する個別計画等		根拠条例等	予防接種法

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	予防接種法に基づき、対象者に予防接種を行う。
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> ・個別予防接種：BCG、二種混合、三種混合、四種混合、ポリオ、不活化ポリオ（単独）、麻しん風しん、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチン ・業務内容：個別予防接種は医療機関に委託。 ・生後1ヶ月の乳幼児保護者に予防接種手帳（各種予防接種の予診票）を交付。 ・児童、生徒に対する予診票は、個別通知を行っている。 日本脳炎 勧奨の差し控えによる未接種者8～9歳児、高校3年生には、予診票等を個別通知。 二種混合は小学6年生に個別通知、麻しん風しん（Ⅱ期）は年長児に個別通知。 ・高齢者にインフルエンザの予診票等の案内を送付 ・「先天性風疹症候群」の発生を予防するため、風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチンの予防接種費用の一部を助成
事業の対象	乳幼児（3ヶ月～90ヶ月） 児童・生徒（小学1年生～高校1年生） 高齢者（65歳以上） 成人（妊娠を希望している女性等）

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	49,738	59,855	68,072
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	49,738	59,855	68,072
B	担当職員数(職員E) (人)	0.54	0.52	0.43
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	3,682	3,375	2,791
D	総事業費(A+C) (千円)	53,420	63,230	70,863
主な事業費用の説明	予防接種の各医療機関への委託料等			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1	BCG	221	205	178
		二種混合	275	260	243
		三種混合(1期初回1回目)	253	152	0
		四種混合(1期初回1回目)	-	66	210
		不活化ポリオ(1期初回1回目)	-	290	43
		麻しん風しん混合(I、Ⅱ期)	464	500	457
		日本脳炎(1期初回1回目)	566	552	313
		ヒブ(1期初回1回目)	685	251	222
		小児用肺炎球菌(1期初回1回目)	780	256	224
		子宮頸がん予防ワクチン(1回目)	426	155	3
		高齢者インフルエンザ	4,771	4,788	4,928
風しん等予防接種費用助成	-	-	84		
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	医療機関と相互に協力して公衆衛生の向上に寄与し、市民の健康的な生活を確保している。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	BCG	90.9	89.9	85.6
		二種混合	65.3	79.5	79.9
		三種混合(1期初回1回目)	94.7	98.7	0
		四種混合(1期初回1回目)	-	89.1	78.3
		不活化ポリオ(1期初回1回目)	-	47.3	20.8
		麻しん風しん混合(I、II期)	98.5	94.8	93.5
		日本脳炎(1期初回1回目)	81.7	75.2	58.6
		ヒブ(1期初回1回目)	47.8	82.5	85.0
		小児用肺炎球菌(1期初回1回目)	54.4	81.5	85.1
		子宮頸がん予防ワクチン(1回目)	83.2	72.0	1.9
		高齢者インフルエンザ	64.2	61.8	61.8
		風しん等予防接種費用助成)	-	-	0.9
		成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている	<input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	医療機関と相互に協力して公衆衛生の向上に寄与し、市民の健康的な生活を確保している。また、四種混合が始まったため、三種混合及び不活化ポリオワクチンの接種者減少しており、定期予防接種の接種推移が数字からも伺える。なお、子宮頸がん予防ワクチンについては平成25年度より定期接種となったが、6月に積極的勧奨が中止となり、接種者数が少ない。			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成	<input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成	<input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	------------------------------------	--	------------------------------------

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する)の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画(今後の事業展開説明) 平成26年10月より水痘及び高齢者肺炎球菌予防接種が定期接種化する。 定期接種化導入に伴い、経過措置対象者等に対して個人通知はもとより、あらゆる媒体を用いて周知を行う。 積極的勧奨を差し控えていた予防接種(日本脳炎)は国の示す方針に従い、順次接種勧奨を行っている。しかし未接種者が多く、新しいワクチンが開発され、重篤な副反応のリスクが低減されているなど就学時健診等でのあらゆる機会において周知を徹底して行っていく。 また、積極的勧奨が差し控えている予防接種(子宮頸がん予防ワクチン)は国の動向を注視し、逐一情報を周知し、再開された場合に備え、周知漏れなどが無いように対象者管理を徹底する。 その他の定期予防接種については、継続して乳幼児健診・教室等で母子健康手帳を確認し、直接保護者に対して接種を呼びかける等して接種率の向上に努める。
過去の改善経過	平成13年度よりインフルエンザ予防接種助成(2,500円) 平成16年度より日本脳炎Ⅱ・Ⅲ期(小学4年、中学3年)個別接種化。 平成17年度中途より、日本脳炎接種勧奨差控え勧告及び第Ⅲ期廃止。 平成18年度より麻しん風しん混合ワクチン(満1歳児、年長児対象)接種開始。 平成20年度より麻しん風しん混合ワクチンⅢ期・Ⅳ期接種開始。(平成24年度までの措置) 平成22年度より日本脳炎の接種が再開され、国の指針に基づき、1期の積極的勧奨を実施。 平成24年度中途より、ポリオの定期予防接種が生ワクチンから不活化ワクチンへ移行し、集団接種が終了。 また、四種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風、不活化ポリオ)が開始。 平成25年度より、風しん等の予防接種費用の一部助成を開始。
課長所見	現行で定期接種化されていないワクチンについては、その動向を注視していくとともに、現行の定期接種については、保健指導・介護支援担当、庁内関係部署と連携を図り、接種率の向上に努める。